

## 第50回加西市公共交通活性化協議会 協議結果

### ■第50回加西市公共交通活性化協議会の開催状況

#### ○開催日程

令和5年3月20日（月）～3月28日（火）正午まで

#### ○開催場所

書面開催

#### ○協議参加者

22名（委員20名 オブザーバー2名）

### ■協議結果

#### ○協議事項1 「加西市地域公共交通計画（案）について」

全会一致により承認

#### ○協議事項2 「富田地区地域主体型交通に係る路線（キロ程）について」

全会一致により承認

第50回加西市公共交通活性化協議会におけるご意見とご意見への考え方

【協議事項1】加西市地域公共交通計画（案）について

	意見の概要	協議会の考え方
1	P66の自動車運転免許証の自主返納者に対する普通タクシー基本料金額の補助は、1年間だけでなく3年間は必要である。高齢者以外の家族があれば対象者にならず、免許返納を困難にしている。	いただいたご意見を踏まえ、福祉部局と連携して施策を検討していきます。
2	北条鉄道、神姫バス、コミュニティバスなどの利用者の声をもっと具体的に集めて発展させていくことを望む。	公共交通や地域の多様な輸送資源を実際に利用されている方々の声を参考に、外出しやすいまちとしていくための検討を進めていきます。
3	各地区での努力に敬意を表し、長期に続くことを期待するが、市の財政負担や運転手の確保等を考えると、将来的に継続できるのか疑問に思うところがある。継続することを望むが、私は乗り合いタクシーをうまく利用できる地域の体制づくりが良いのではと考える。	いただいたご意見を踏まえ、継続的に地域主体型交通の運営・運行ができるように利用促進等の取組も併せて実施していきます。また、定時定路線型や乗り合いタクシーのオンデマンド型など運行方法が様々であるため、地域に合ったものを地域と連携して検討する体制づくりを行います。
4	P101「路線バス利用者1人当たりの行政補助額」は、分母がICカード利用者となっている。加西市内のみの利用者数の算出ができないためそうなっていると理解するが、実態に近づけるために全路線（県内又は圏域内など）のICと現金の割合から割り戻し、利用者数（全数）の見込み値を分母とすべきである。特に加西市内は高齢者利用が多く、IC利用者は比較的少ないため、過大な評価とならないと想定する。	いただいたご意見を踏まえ、「路線バス利用者1人当たりの行政補助額」に用いられている利用者数をICカード利用率で割り戻した数値で現状値を再検討します。

【協議事項2】富田地区地域主体型交通に係る路線（キロ程）について

	意見の概要	協議会の考え方
1	自家用有償旅客運送事業の運転手の健康及び運転適性チェックは必ず毎年受ける必要がある（60歳以上の方）。	いただいたご意見を踏まえ、運転手の健康及び運転適性チェックの実施体制を検討していきます。
2	うまくできることを希望する。	ご意見ありがとうございます。